



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 三谷セキサン株式会社

コード番号 5273 URL <http://www.m-sekisan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三谷 進治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 阿部 亨

TEL 0776-20-3333

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	15,835	1.1	1,268	△19.5	1,412	△2.9	865	△3.8
29年3月期第1四半期	15,670	3.1	1,575	18.6	1,454	△4.7	899	△5.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,113百万円 (1,179.1%) 29年3月期第1四半期 165百万円 (△89.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	42.50	—
29年3月期第1四半期	43.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	74,498	49,068	63.4	2,320.51
29年3月期	72,026	47,143	63.0	2,228.95

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 47,241百万円 29年3月期 45,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	0.6	2,300	△18.4	2,400	△9.9	1,550	△9.6	76.13
通期	64,500	△1.0	4,600	△10.0	4,800	△9.3	3,100	△9.2	152.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	24,986,599 株	29年3月期	24,986,599 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	4,628,402 株	29年3月期	4,628,259 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	20,358,292 株	29年3月期1Q	20,448,649 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調となりました。一方で、人手不足による労務費の高騰、米国の経済政策運営などの海外経済の不確実性等、不透明な状況が続いております。

当社グループの主力製品であるコンクリートパイル業界におきましては、官公需要は増加したものの、民間需要が減少したため、全体の出荷量は前年同期比で98.0%となりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は158億35百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は、原材料価格の高騰や競争激化による粗利率低下のため、12億68百万円（同19.5%減）、経常利益は14億12百万円（同2.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億65百万円（同3.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コンクリート二次製品関連事業

コンクリート二次製品関連事業につきましては、価格競争の激化等、厳しい経営環境の中で、販売強化に努めました。その結果、当部門の売上高は、131億13百万円（前年同四半期比0.7%増）となり、営業利益は、8億24百万円（同37.4%減）となりました。

② 情報関連事業

情報関連事業につきましては、売上高は、14億36百万円（前年同四半期比1.7%増）となり、営業利益は、85百万円（同7.4%増）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、売上高は、12億85百万円（前年同四半期比3.8%増）となり、営業利益は、4億35百万円（同19.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億71百万円増加し、744億98百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億47百万円増加し、254億30百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19億24百万円増加し、490億68百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期及び第2四半期（累計）における連結業績予想は、2017年5月12日に公表しました「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,132	22,434
受取手形及び売掛金	19,212	18,499
電子記録債権	1,620	1,253
商品及び製品	2,057	2,211
仕掛品	49	112
原材料及び貯蔵品	698	763
その他	711	839
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	45,478	46,110
固定資産		
有形固定資産	13,836	14,087
土地	5,709	5,708
その他	8,127	8,379
無形固定資産	751	723
投資その他の資産	11,959	13,577
投資有価証券	10,721	12,415
その他	1,251	1,175
貸倒引当金	△13	△12
固定資産合計	26,548	28,388
資産合計	72,026	74,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,923	9,169
電子記録債務	4,419	4,379
短期借入金	150	260
未払法人税等	854	399
工事損失引当金	115	33
保証工事引当金	39	39
その他	5,421	5,688
流動負債合計	19,923	19,969
固定負債		
長期借入金	90	67
役員退職慰労引当金	441	452
退職給付に係る負債	827	831
保証工事引当金	52	52
その他	3,547	4,056
固定負債合計	4,959	5,461
負債合計	24,883	25,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,146	2,146
資本剰余金	1,847	1,847
利益剰余金	37,034	37,726
自己株式	△1,815	△1,815
株主資本合計	39,212	39,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,164	7,336
その他の包括利益累計額合計	6,164	7,336
非支配株主持分	1,766	1,827
純資産合計	47,143	49,068
負債純資産合計	72,026	74,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
売上高	15,670	15,835
売上原価	12,671	13,181
売上総利益	2,998	2,653
販売費及び一般管理費	1,423	1,385
営業利益	1,575	1,268
営業外収益		
受取配当金	70	87
為替差益	—	5
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	32	54
営業外収益合計	102	148
営業外費用		
為替差損	214	—
その他	9	3
営業外費用合計	223	3
経常利益	1,454	1,412
特別利益		
固定資産売却益	2	0
その他	1	—
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	2
役員退職慰労金	0	—
その他	0	0
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	1,455	1,410
法人税、住民税及び事業税	539	479
法人税等調整額	△55	△5
法人税等合計	483	473
四半期純利益	971	936
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	899	865

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)
四半期純利益	971	936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△806	1,176
その他の包括利益合計	△806	1,176
四半期包括利益	165	2,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96	2,037
非支配株主に係る四半期包括利益	69	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3)
	コンクリート 二次製品関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,019	1,411	14,431	1,239	15,670	—	15,670
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3	—	3	1,181	1,185	△1,185	—
計	13,023	1,411	14,435	2,420	16,856	△1,185	15,670
セグメント利益	1,316	79	1,396	366	1,762	△186	1,575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△186百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3)
	コンクリート 二次製品関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,113	1,436	14,549	1,285	15,835	—	15,835
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6	—	6	1,252	1,259	△1,259	—
計	13,119	1,436	14,555	2,538	17,094	△1,259	15,835
セグメント利益	824	85	909	435	1,344	△76	1,268

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△76百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。